

平成22年度 富山県総合防災訓練の実施について

平成22年8月23日

防災・危機管理課

1 目的

災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や、防災思想の普及啓発を図るため、国の機関、市町村、広域応援協定を締結している他県や団体、防災関係機関、自主防災組織、ボランティア団体並びに地域住民等の参加のもとに、災害応急対策等について実践的かつ実効性のある総合的な防災訓練を行う。

2 概要

- (1) 日時 9月4日(土) 8:00~12:00(予定)
- (2) 場所 滑川市(6会場)、舟橋村(3会場)、上市町(4会場)、立山町(4会場) 計17会場
- (3) 主催 富山県、滑川市、舟橋村、上市町、立山町
- (4) 主な被害想定
 - ①魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震発生、県東部で震度6強を観測、常願寺川上流で河道閉塞、建物倒壊、負傷者多数、ライフライン損壊、孤立集落発生
 - ②県東部で局地的な集中豪雨が発生、上市川流域で増水、山間部で土砂災害、市街地で内水氾濫

3 今回の防災訓練の主な特色

※下線は新規訓練項目

今回の訓練では、当該地域で過去に経験した災害(大地震による河道閉塞、集中豪雨、土砂災害、山林火災など)や、近年、県内外で発生している災害対応(大地震や局地的な豪雨による被災者救出、避難所の運営、孤立集落発生など)を踏まえ、実施する。

- (1) 常願寺川上流での河道閉塞対応訓練(立山町千垣会場)
 - ・避難勧告発令、消防団出動、住民広報、住民避難、要援護者避難支援
 - ・県、国による対応の協議、TEC-FORCE(テック-フォース(国土交通省の緊急災害対策派遣隊)の出動要請、ヘリコプター伝送システム等による状況把握
- (2) 集中豪雨、土砂災害、山林火災、高波による対応訓練
 - ・上市川下流での水防訓練(上市川河川敷)、水土のうによる浸水対応訓練(滑川市田中橋周辺)
 - ・土砂災害警戒情報による住民避難広報、要援護者避難活動(上市町音杉地区)、土石流災害からの救出訓練(滑川市北加積会場)
 - ・山林火災に対する防災ヘリ空中消火(上市町白萩南部会場)、高波発生による住民避難広報(滑川市高月漁港周辺)

(3) 大規模な地震を想定した合同訓練

- ・ Jアラート（全国瞬時警報システム）による緊急地震速報の伝達（上市町、立山町会場）
- ・ 自主防災組織による初期消火、避難誘導、応急救護（AED操作）、要援護者安否確認（各会場）
- ・ 消防、警察、自衛隊、^{デマット}DMA T（災害派遣医療チーム）等による連携訓練（救助活動に自主防災組織、県内全てのDMA T指定病院参加）、ヘリによる災害救助犬輸送（滑川市北加積会場）
- ・ 消雪装置用地下水を活用した飲料水、消火水利、生活用水確保（舟橋村会場）

(4) 住民主体による避難所運営訓練（滑川市北加積会場）

- ・ 自主防災組織が中心となり避難所運営組織の立ち上げ、避難所での支援活動の協議
- ・ 応急危険度判定士による避難所の安全確認、学生ボランティア（近隣の専門学校との連携）による避難所支援

(5) 孤立集落発生を想定した対応訓練（上市町音杉、白萩南部会場）

- ・ 衛星携帯電話による情報伝達、防災行政無線（デジタル）による双方向通信
- ・ 安否確認、避難誘導、応急手当

4 参加機関等

- ・ 参加機関数 約90機関

※主な参加機関

国関係：国交省富山河川国道事務所、国交省立山砂防事務所、自衛隊、伏木海上保安部、中部管区警察局、富山地方気象台

県関係：富山県、県警本部、県社会福祉協議会、県看護協会、県薬剤師会

市町村関係：滑川市、舟橋村、上市町、立山町、各市町消防本部

指定公共機関等：北陸電力、NTT西日本、郵便局、富山地方鉄道、日本通運

病院関係：富山大学付属病院、黒部市民病院、厚生連高岡病院、県立中央病院、日赤

応援協定関係：石川県、福井県、岐阜県、中日本高速、全国災害救助犬協会、日本自動車連盟

- ・ 参加人員 約3,200人（うち住民 約1,500人）
- ・ 車両等 車両149台、ヘリコプター6機（富山県、石川県、福井県、岐阜県、自衛隊、第九管区海上保安本部）、固定翼1機（航空自衛隊）

5 今後の主な訓練予定

- ・ 8月24日（火）国民保護共同訓練（国との共同訓練として実施）
- ・ 10月27日（水）石油コンビナート総合防災訓練（日産化学工業富山工場）
- ・ 11月 原子力災害対策情報伝達訓練

平成22年度 富山県総合防災訓練における新規訓練項目について

今年度の県総合防災訓練において、今回初めて実施する訓練項目とその概要は、以下のとおりです。

訓練項目	会場	今回の新規性
河道閉塞対応訓練	立山町千垣地区 (第14会場)	・地震により常願寺川上流で河道閉塞(天然ダム)が発生したとの想定で、ヘリコプター伝送システムやバルーンカメラによる状況把握、国(立山砂防事務所)や県等の関係機関による対応協議、周辺住民や下流の自治体への情報提供、TEC-FORCEの派遣要請等の一連の初動対応訓練
土石流災害からの救出訓練	滑川市北加積地区(第1会場)	・土砂災害により、住宅に土石流が入りこみ、住民が埋もれているとの想定で、自衛隊による土砂除去と住民の救出訓練
Jアラートによる緊急地震速報の伝達訓練	上市町音杉地区 立山町千垣地区 等	・大きな揺れがくる前に、国から緊急地震速報がJアラートにより伝達されたとの想定で、防災行政無線の自動起動による住民への情報伝達訓練
自主防災組織、多数のDMAT、災害救助犬による救出・救助訓練	滑川市北加積地区(第1会場)	・倒壊建物の中に地域住民が取り残されたとの想定で、消防機関が到達する前に自主防災組織による救出訓練 ・地震により多数の負傷者が発生したとの想定で、県内全てのDMAT指定病院(4病院)が連携協力し、統括DMATのもとで負傷者の医療救護活動を行う訓練 ・自衛隊ヘリコプターで災害救助犬を被災地に搬送する訓練
消雪装置用地下水を活用した飲料水等の確保訓練	舟橋村竹内・東芦原地区(第8会場)	・地震により断水となったとの想定で、消雪装置用の地下水を飲料水や生活用水、消火用水に転用して活用する訓練
住民主体による避難所運営訓練	滑川市北加積地区(第1会場)	・自主防災組織が中心となって避難所運営組織を立ち上げ、避難所での要援護者の支援活動を自主的に協議する訓練 ・自主防災組織が、応急危険度判定士や近隣の専門学校生のボランティアと連携し、避難所の安全確認や支援物資の搬入、要援護者支援等を行う訓練
デジタル防災行政無線による双方向通信訓練	上市町白萩南部地区(第13会場)	・孤立集落が発生し通信回線が途絶したとの想定で、デジタル防災行政無線により、孤立集落と町対策本部との間で双方向での情報伝達を行う訓練

参考 会場別の主な訓練内容

訓練会場		主な訓練内容
滑川市	北加積地区 (第1会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・倒壊建物からの救助、土石流災害からの救助 ・県内全てのDMAT指定病院及び日赤等による災害医療活動 ・自主防災組織を中心とした住民による避難所開設運営
	東地区 (第2、3会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス等の車両による多重衝突事故対応 ・高層建物救出・火災消火
	西地区 (第4、5、6会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・水土のうによる住宅浸水対応 ・海難救助及び火災船舶消火 ・水防活動、軽門橋構築及び偵察バイクの渡河
舟橋村	竹内・東芦原地区 (第7、8会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・AED等による応急救護活動、炊き出し ・消雪装置用地下水を活用した飲料水確保等
	舟橋地区 (第9会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震災害に係る災害時要援護者関連施設の避難活動
上市町	音杉地区 (第10、11、12会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・Jアラートによる緊急地震速報の伝達 ・事故車両からの救助、女性消防団や住民による消火器消火 ・市街地火災防御 ・土砂災害に係る災害時要援護者関連施設の避難活動
	白萩南部地区 (第13会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立集落と町対策本部との間で、デジタル防災行政無線による双方向通信 ・防災ヘリコプターによる救助隊員や緊急物資等の搬送 ・防災ヘリコプターによる空中消火
立山町	千垣地区 (第14、15会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・常願寺川上流での河道閉塞発生に対する初動対応訓練 ・土砂崩落による被災者救助、AED等による応急救護活動
	芦峯寺地区 (第16、17会場)	<ul style="list-style-type: none"> ・芦峯雄山神社の火災防御 ・初期消火活動、煙中体験

平成 22 年度富山県総合防災訓練 会場位置図

